

1
発9
行9
人2
II年
関1
西月
障6
害日
者発
定行
期へ
刊毎
行日
物発
協行
会

K
大S
阪K
市P
城通
東卷
区2
東1
中3
浜6
2号
1
19
08
14
1年
38
月
2
0
日
第
3
種
郵
便
認
可

KSKP

No. 3

障害者情報クラブニュース

国連障害者の10年、最後の年に思うこと

情報クラブ代表
井 上 聖

いよいよ今年は、国連障害者の10年、最後の年となりました。

この10年、障害者に対する社会の対応は、著しい進歩を遂げたと思います。しかし、これは部分的なもので、公共施設についても形だけ整えれば良い、実際には障害者が来ても困る、社会の中で障害者を分けたがる、これを区分とか区別と言って、差別であることを自覚しない人や、高福祉は国をつぶすと声を大にして叫ぶ人が大手を振ってまかり通る世の中です。

スポーツセンターとの交渉にしても、障害者が使えるように何とかして欲しいと頭を下げてお願いに伺ったのですが、運営面など行政側の都合が優先し、障害者はおいてけぼりとなりました。宝塚市立スポーツセンター設置管理条例第一条に『市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、心身の健全な発達に寄与するため、スポーツセンターを設置する』とあります。

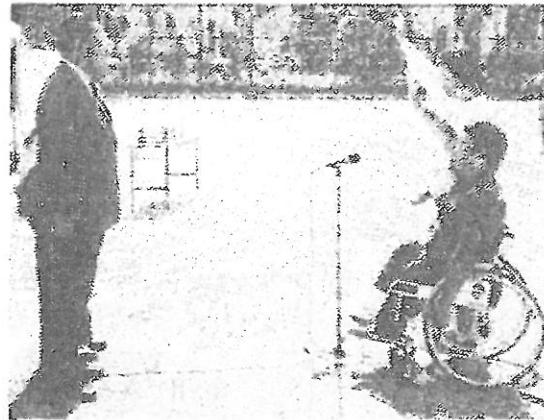
障害者は、市民ではないのでしょうか？

人が人として、尊厳をもって生きていく、老人であれ障害者であれ、誇りをもって誰に

も遠慮せず、必要以上に頭を下げることなく普通に生きてゆきたい。これは贅沢な気持ちでしょうか？

今号に投書戴いた、施設に入所されている方々の切なる声を聞いて、皆さんもじっくり考えてみてください。

▼9月27日、ペタンク大会に参加しました。



目次

国際障害者年、最後の年に思うこと	…(1)
ご存じですか？交通機関の割引制度	…(2)
宝塚市の公共施設の影 その後	…(4)
施設の方からのお便り	…(5)
会員の声	…(6)
医院レポート	…(7)
レジャーガイド	…(7)
情報クラブからのお知らせ	…(8)
会員募集	…(8)
編集後記	…(8)

――存じですか？ 交通機関の料金割引制度――

★鉄道運賃（JR・私鉄）

対象………身体障害者1～6級と介護者、療育手帳A、B1、B2と介護者

利用方法……乗車券等を購入する際に手帳を提示してください。

利用できる方		種類	割引率
第1種 障害者	①単独で利用する場合 (100kmを越えて利用する場合に限る)	普通乗車券	5割引
	②介護者とともに利用する場合	普通乗車券 定期券 回数券 急行券	障害者、介護者とも5割引 (障害者が小児定期券の該当者に対しては、介護者に対してのみ5割引)
第2種 障害者	①単独で利用する場合 (100kmを越えて利用する場合に限る)	普通乗車券	5割引
	②介護者とともに利用する場合 (12才未満の障害者が定期乗車券によって利用する場合に限る)	定期券	介護者に対してのみ5割引

★バス運賃

対象………身体障害者1～6級と介護者、療育手帳A、B1、B2と介護者

利用方法……バス運賃支払のとき手帳を提示してください。

利用できる方	割引率
第1種障害者（介護付き）	障害者、介護者とも5割引
第2種障害者（単独）	5割引

※ 定期券は、3割引です。

★福祉タクシー基本料金助成

電車、バス等通常の交通機関を利用することが困難な重度障害者の方がタクシーを利用する場合、基本料金相当額を助成しています。（所得制限があります）

対象………身体障害者手帳1、2級、療育手帳A

助成額………月4枚（年間48枚）の基本料金相当額の利用券を交付します。

手続き………手帳、印鑑をもって障害福祉課へ

★タクシー運賃

対象………身体障害者1～6級、療育手帳A、B1、B2

割引率………タクシー運賃の1割引（割引が適用されない地域もあります）

利用方法……タクシー運賃支払のときタクシー運賃割引申し込み書を運転手に渡し、手帳を提示してください。

★航空運賃

身体障害者(12歳以上)、精神薄弱者(12歳以上)の方が航空機を利用する場合、運賃が割引になります。

対象………第1種障害者と介護者(本人と介護人1人)

第2種障害者で視覚、聴覚、下肢、内部障害の4級以上又は平衡、音声・言語・そしゃく機能の3級以上の方(本人のみ)及び療育手帳B1、B2(本人のみ)

割引率………障害者25%、介護者25%の割引

取扱区間……国内定期路線

利用方法……第1種の方は、搭乗券を購入の際、手帳を提示するだけで割引されます。

第2種の方(上記対象者)は、あらかじめ福祉事務所で手帳に証明印を受けておかないと割引されません。

★有料道路通行料金

身体障害者の方が有料道路を利用する場合、料金が割引になります。

対象………身体障害者手帳の交付を受けている肢体不自由の方

内容………本人または生計を一にする人が所有する乗用自動車(営業用は除く)を、障害者自身が運転し有料道路を利用する場合、料金が5割引になります。

手続き………身障手帳、運転免許証、車検証、印鑑をもって、障害福祉課で身障手帳に証明印を受け、割引証の交付を受けてください。

★汽船運賃

船会社によって割引が異なりますので、利用する前に船会社へ問い合わせてください。



宝塚市の公共施設の影 その後

前号で「緊急レポート・宝塚市の公共施設の光と影」の影の部分として掲載した市立スポーツセンターの温水プールが、9月1日になし崩し的にオープンしました。既に、全国に配付された前号の記事をもとに、新聞各紙やパソコン通信のネットワークなどで取り上げられているにも関わらず利用者である市民の意見を全く無視したスタートとなつたのです。オープン記念セレブションで新聞記者の質問に対して、正司市長から「男女共用更衣室は今年度中に改修する」と回答を得られたことが僅かな救いと言えるでしょう。

さて、もう1点。スポーツセンターは市民の『スポーツ』のために作られていると言明されていたのですが、『市立スポーツセンター設置要項』の冒頭には、その設置目的として、市民の『スポーツおよびレクリエーション』のために設置されている、と書かれていることが分かりました。障害者のスポーツをリハビリテーションや遊びとしてとらえ、充分な対応をしてもらえたかったことが、非常に残念です。

その後の市側の対応は市長発言の後とあって、市議会でも当たり障りのない答弁で弱冠柔らかなものとなりました。そこで、実際の使い勝手を見るために、先日抜き打ちで当会員と市内の水泳愛好家数人が、温水プールへと出かけて行きました。まず目についたのが案内表示です。非常に見やすく工夫されていて誘導にも無理がない立派なものでした。

ところが更衣室に入ってみるとプール用の車いすがみあたらぬのです。早速、アルバイトの監視員に、持ってきてくれるように頼んだところ、その監視員は自分が何を言われているのかわからない様子でした。2度ほど催促をしてようやく車いすの登場。さて、実際に入水しようとプールサイドまでは行ってみたものの、今度は入水用のマットがありません。監視員に尋ねると、また先ほどと同じ顔です。いくら待ってもマットは出てきませんでした。ひと泳ぎしてプールから出ようと

して、ふたたび監視員にマットをもって来てくれるよう頼みましたが、ついにマットは出てきませんでした。監視員は2人いたのですが、こちらの質問に対してついに最後まで一言も喋りませんでした。このように、私たちと確約していたはずのプール用車いすが、何処にあるのかも分からず、入水用のマットに至っては購入すらしていない可能性が出てきました。又、2人の監視員に、障害者への対応は何ひとつ伝達されていないことも明らかになりました。つまり温水プールは、健常者が一見して「障害者への配慮ができるいるな」と思えるトイレやエレベーターなどについて充分に配慮されているのですが、実際の利用に関しては、もう少し考え方直してもらわなければなりません。

ところで、ここではスポーツセンターを批判的に書いておりますが、前号でも触っていますように、あくまでも一部分のことであることを付け加えておきます。

市と身体障害者福祉団体連合会が毎年行っている心身障害者運動会の実行委員にスポーツセンターの指導員の方が数名加わったり、逆に、毎年10月10日の体育の日にはスポーツセンターで行われている市民レクリエーション大会の実行委員に障害者団体の役員が数名加わったり、あるいはスポーツセンター主催の障害者向けのスポーツ講座が今年から開催されるなど、現場レベルでの交流が広がっており、このような委員会の場では、将来的に、市民レクリエーション大会と心身障害者運動会と一緒にしようという『夢』も話し合われています。

私達は、気軽にスポーツが楽しめる、障害者・健常者の区別なく利用できる公共施設を望んでいるだけなのです。

今後、ますます高齢化社会が進む中、誰もが住みよい宝塚市にするためにも、関係諸氏並びに市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

施設入所の方から当情報クラブ代表の井上さんへお便りが届きました。

昨年開催した第2回車いすウォークラリー（小浜探検隊）に参加者の方々からお便りが寄せられていますので、抜粋して皆様にもご紹介いたします。

前略、井上聖さんこんにちは、そしてどうも初めましてと言うよりか…去年の秋の車いすウォークラリーの時は、本当にお世話になりました…どうも有難うございました。本当にあの時に初めて、私も参加してそして初めて小浜周辺を電動車椅子で…あんなに歩いたのは、本当に生まれて初めてだったから…何だか心が楽しくなりました。（中略）それに私は、生まれた時からずっと、脳性小児麻痺にかかって…今、車椅子に乗って…そして今、施設で…約50人の入居者と一緒に、生活しています。そして今、施設で私は…ワークや同好会に入って、色々やっています。ワークでは、クッキーを作ったり…手芸でボブリを作ったりしています。そして同好会では、茶道、華道、写真、広報と色々しています。（中略）

それに、私達障害者は、外に出て行かなくとも施設や家の中に居たら…何不自由もなく食べる事も心配要らなくて…なんにも苦労も知らずに暮らせて、何が不満なんだろう？と思うかも知れないけれど…私は、私は、そんな生活がイヤ～アなんです。

こんな私でも、将来のこれから的事を考えているんです。それはだって、解らないけれど…いつかは親だって二人とも亡くなってしまうかも知れないし、かっと言って…自分も後追いで死ぬ訳いかないでしょう～。だったら結局は、自分一人で何とか自立をして生きて行かなければいけないんでしょう。「だけど…親が亡くなってしま…おまえには、あと3人の弟妹が居るだろ～」って多分両親は言うけれど…いくら私には、弟妹がいるからって言っても…そんな兄弟ばかりに、頼ったらいけないし…それに兄弟だって、兄弟の都合もあるだろ～し…私だって色々都合があったら、色々出掛けなければいけない事だってあるから…（中略）私は施設の中や実家中ばかりに居て…今まで何してきたんだろう？。

そして今まで何しに生まれてきてどうして今は、何の為に生きているんだろう？。このまますっと施設の中や家の中ばかり居て、自分の行きたい所も…行ってみたい所も外出しないで、（中略）それに私は、この施設に入所してから…もう丸々8年目になりますが、その8年間の中で私だけが一つも変わってないような気がするんです。それに施設の中でも、全然頭で考えることも行動も出来なくて…只、一日中朝スタッフに起こしてもらって…車椅子で朝食を取って済ませ、そして9時～12時のその間は、2Fのホールで車椅子のままか…車椅子から降りて、TVを見てるか横になってジーッとして…（中略）

それに施設では、今まであまり外の世界へ出していく機会が少なくて、殆ど障害のある人達は「外の世界へと、出て行きたい」と言っています。今まで障害者は、施設や家などに閉じこもりきりで…そういったチャンスがなかなか無かったんです。それで施設ではそんな障害を持っている人達の夢を叶える為に…少しづつ年に4～5回程度、外へ出られるようにと…企画を立てているんですが…それは単なる集団行動にすぎず、順番に3～4人ずつ行っているんです。（中略）

今年も又、11月に「第3回車いすウォークラリー」があるそうですね。そして今回は、宝塚市役所を出発し…逆瀬川周辺を散策する2kmから6kmぐらいの距離を歩くんですね。

それで時間が出来たら、今回も参加しようかな～！と思っていますが…。（F・F）

このお便りから、誰もが一度は通る青春期の悩み、それに障害を持つがゆえの苦しみがF・Fさんの大きな心の叫びとして聞こえてきます。F・Fさん、私達も応援しています。

（編集部）

会員の声

◆前略、障害者情報クラブニュースNo.2拝見しました。実に幅広い内容で立派なものと感服しました。行政に企業にと常に働きかけ、数々のイベントをこなし、私などアレヨアレヨと拝見するばかりです。毎日の生活時間に追われ、リハビリその他にも力を入れているとセイゼイ市長さんに手紙を出す位のことしかできません。それも、ワンバターンになってきて行政は微動だにしないようです。まず自分の介助者の確保に心身ともにスリ減らし情けないことです。

「街に出よう」ということで主に活動なさって、なかなかアテンダント事業に手がまわらないようにお書きで、さもありなんと思っております。私も、今住んでいるところが中途半端なところなので、ちょっと福祉の谷間みたいな感じです。私も昔、車いすガイドブック作りに参画しキューキューいいながら就業後夜9:00過ぎ頃まで、時にはしゃべくりまわったりしたものです。

貴誌拝見して感激し、これを書きはじめましたが横道にそれました。いろいろとありがとうございます。何かお手伝いできることがあるといいのですが。 西岡 潤(宝塚市)

* * * * *

◆ニュースありがとう。本誌よりチラシ(付録)に入っていた「宝塚市の公共施設の光と影」のほうが読みごたえがあった。

宮内和男(ニュー・メディア・コミュニケーション)

* * * * *

◆会報をお送りいただきありがとうございます。また、このたびは車いすガイドブック完成おめでとうございます。私たちの会でも、15年ほど前から2回にわたって作成しました。3回目を来年の予定で準備しています。

四日市市では障害者ウォークラリーを予定していますが、5団体(種別)全員が参加するためなかなかアイデアが出ません。障害者情報クラブではどのようにされているのでし

ょうか。 春日弘久(重度障害者の生活を明るくする会・四日市車椅子の会)

* * * * *

◆9月23日、今日は午前中の10時から、夕方の4時まで、メインストリームの男の人は、木村さんというアテンダントさんです。もう一人は、ついて行きました。いきしなは、藤山さんが、フクユタクシーを予約をしてくれました。藤山さんと井上さんと僕とフクユタクシーにのって神戸のハイウェーに行きました。むこうで、午前中の11時30分につきました。先にポートピアホテルで、午後の2時昼ごはんは、僕は、神戸のカレーライスを食べました。あとで、アイスコーヒーを飲みました。食べながら、5人で、いろんな話をしました。最後に自分のカメラで記念写真を撮りました。僕は、1日楽しかったです。また5人で、行きたいです。 早川浩介

(はんしん自立の家)

* * * * *

◆その他に感想やご支援を戴いている方々をご紹介します。皆さん、有難うございます。

(順不同・敬称略)

中西智子(西宮市)、石田易司(朝日新聞大阪厚生文化事業団)、自立生活センター立川(立川市)、共同連(大阪市)、調一興(社会福祉法人東京コロニー理事長)、全国公的介護保障要求者組合(田無市)、近畿聴覚障害学生懇談会(明石市)、全国聴覚障害者連絡会議(大阪市)、坂東由美子(宝塚市)、谷総保(神戸市)社会福祉法人日本ライトハウス視覚障害者リハビリテーションセンター(大阪市)、堂脇ゆかり(神戸市)、北岡美穂(宝塚市)、

* * * * *

◆機関誌や情報の交換をして戴いている団体です。 (順不同・敬称略)

姫路福祉マップを作る会(姫路市)、神戸車イスマップをつくる会(神戸市)、メインストリーム協会(西宮市)、プラス・ワン(津市)、中部障害者解放センター(大阪市)、箕面市障害者事業団(箕面市)、障害者労働センター(枚方市)、重度四肢麻痺者の就労問題研究会(福岡市)

医院レポート

内科・呼吸器科・レントゲン科
田村クリニック
 宝塚市伊予志1-7-15 ユキホームビル4F
 ☎ 0797-77-3060

営業時間
 午前9時～12時 午後4時～7時
 お休み
 水・土曜午後・日曜日・祝祭日

銀行、生命保険株式会社と同じビルの中にあります。しかし、このエレベーターに少々難あり、26インチのタイヤの車いすで斜めにやっと入れる位の広さしかありません。電動では無理かな。もう一つの問題は、診察室に入るのに2段の階段があるのですが、ここは、綺麗な看護婦さんが親切に優しく介助してくれますので、甘えてください。ここまでなら身近にある医院と変わりませんが、ここは往診もしてくれます。

尾口皮膚科

宝塚市南口2-5-30 第3バイオレットビル2F
 ☎ 0797-72-2468 (時間外 075-751-2892)

営業時間
 午前9時～12時 午後4時～8時
 (土曜日のみ1時～2時)
 お休み
 日曜日・祝祭日

ここもビルの中にありエレベーターにたどり着くには、4段の階段を乗り越えなくてはなりませんが、前もって電話すれば、若い親切な看護婦さんが介助してくれます。又、先生がとても親切で丁寧に病状について説明してくれます。ただ難点は、そのおかげで待ち時間が少々長いことです。

レジヤー ガイド

尼崎市立
魚釣り公園
 尼崎市平左衛門町66
 ☎ 06-417-3000

営業時間
 午前6時～午後9時(変更有り)
 お休み
 毎週火曜日

武庫川の先端にあり、車椅子で魚釣りが楽しめるようになっています。問題は、行くまでの方法です。バスの便数が少なく当り前ですが(?)リフト付きはありません。当然マイカーか別の人人が運転する車となります。いつも身障用駐車場は一杯です。車椅子に乗っている人が大勢来られてるのでかと、職員に聞けば一人も障害者は入場しないとのこと、テレビのコマーシャルではないですが関西人のモラルの高さを味わいました。何も用意しなくとも、餌付きで釣り竿が借りられるので気軽に魚釣りが楽しめるのですが、早朝6時頃でもかなりの人出で、余り多いと入場制限があります。

▼公園駐車場の身障用スペース



1
発9
行9
人2
年
関1
西
障6
害日
者發
定行
期へ
刊每
行日
物發
協行
会
K
大S
阪K
市P
城通
東卷
区2
東1
中3
浜6
2号
11
19
08
14
1年
38
月
2
0
日
第
3
種
郵
便
認
可

情報クラブからのお知らせ

◆はんしん自立の家オープンハウス

とき：10月18日（日）

午後1時30分から4時30分

◆国連障害者の10年宝塚フォーラム

「親ばなれ子ばなれ—よい親子関係—」

講 師：谷口明広さん

とき：10月23日（金）

午後1時30分から4時

ところ：総合福祉センター大ホール

◆宝塚市身体障害者運動会

とき：10月25日（日）

ところ：宝塚市立良元小学校

誰にでも参加できる種目がありますので、みんなで来てくださいね。

会員募集

身体に、ハンディキャップを持つ人も持たない人も、みんなと一緒に友情を深め合いながら、ともに生きる社会について語り合いませんか？ 障害者情報クラブでは下記の会員募集を行っています。

★正会員 2,500円（年会費）

★賛助会員 2,000円（一口）

いずれも事務局に連絡の上、銀行振込又は郵便振替で会費をお振込み下さい。

◆情報クラブ定例会（月2回）

★第1土曜日

午後1時30分から4時まで

市立中央公民館

★第3土曜日

午後1時30分から4時まで

市立総合福祉センター

◆情報クラブでは、みんなで集える場所を捜しています。格安で貸して戴けるお部屋がありましたら事務局まで知らせてください。

編集後記

障害者情報クラブニュース No.3 をお届けします。編集部では、皆さんにできるだけお役に立てるようなホットな情報を提供しようとを考えています。もしこんなことを教えたら誰かが喜ぶんじゃないかなとか、ここへいけば、車椅子でもこんなことができるとか、そんな耳よりな話がありましたら、ぜひ事務局までご一報下さい。それから会員の皆さんの親睦を図るために《会員の声》コーナーを設けましたので、ご意見やご要望もお寄せ戴きたいと思います。

今後とも、みんなにやさしい街づくりのために、情報クラブは活動して参りますので、皆様のご支援ご協力をお願ひいたします。

(編集部)

『K S K P 障害者情報クラブニュース No. 3』

編集者：障害者情報クラブ広報部

編集責任者：障害者情報クラブ代表 井上 聖

本部・事務局：〒665 兵庫県宝塚市中筋8-19-7 坂上正司方

☎ 0797-88-4329(昼) ☎ 89-8229(夜) FAX 88-0779(自動)

銀行振込口座：さくら銀行逆瀬川支店 普通 3566211

ショウガシヤショウカク イノウエ キヨシ

障害者情報クラブ 井上 聖

郵便振替口座：神戸 2-45964 障害者情報クラブ